

## 充実した看護体制とチームワークで、患者様により良い看護を提供する

看護部 田淵典子 部長



病棟の看護師たちと



### PROFILE

たぶちのりこ◎1979年聖カタリナ女子高等学校衛生看護専攻科卒業。同年、愛媛大学医学部附属病院へ。外科、小児科、血液内科、循環器内科、外科病棟看護部長を経て、2004年副看護部長、2007年4月より看護部長に就任。愛媛大学法文学部の夜間コースに通う現役大学生でもある。趣味は三味線、琴、家庭菜園。

私は今年度から看護部長に就任いたしました。現在、愛媛大学医学部附属病院では、7:1の看護体制に向けて取り組んでいます。例えば、これまでは24時間を通して40人の患者様に対し12人の看護師がケアにあたっていました。新体制では18名以上の看護師配置となり、より安全性の高い充実した看護が提供できます。私が看護部長になり、看護体制が変わったからと言って、看護部の理念が変わる訳ではありません。今まで続いている古き良き礎の元に、さらに新しいものを積み上げて

いくのだと思います。私は、患者様との出会いは「一期一会」だと考えています。看護は、患者様にお会いした時のあいさつから始まり、私たちのできる精一杯の気持ちを含め、安心して医療、看護が受けられるように支援し、患者様をお送りする時まで、丁寧な対応を心がけることが大切です。これまでも、共に働いてきた看護師にはそのような私の思いを伝え、指導してきました。私は、患者様と接することに喜びを感じこれまで勤めてきました。この気持ちは、これからも変わることはありません。看護部長の時は、病棟で患者様のケアに参加してきましたが、副部長となり管理室の業務では、患者様に直接ケアの提供ができないことを残念に思っていました。でも今は、現場にいる時とは違った視点で、看護のあり方を各看護師長や看護師に教育・指導することで、患者様によ

り良い看護が提供できるのだと思えるようになりました。

また、看護は24時間継続し提供するものですから、1人の患者様に対し何人も看護師が関わります。そのために人の育成とチームにおける人間関係が大切な要素となります。4月から新たに100名以上の看護師を迎え入れ、現在430名ほどの看護師が働くことになりました。チームワークをより強化して、心のかもったきめ細やかな看護が提供できるよう、一人一人の看護師を大切に育成することに力を尽くしたいと思います。

私は、変化に対応することや、新たなことにチャレンジすることは苦手ではありません。今までも問題が発生すれば現状を分析し、具体策を打ち出して実践してきました。今後も状況に応じて発想の転換をしながら前向きに頑張りたいと思っています。

これから、患者様から多くの事を学び、看護職員と共に歩み、看護部長としての職責を果たして地域に密着した病院づくりに参画しますので宜しくお願い致します。



管理室にて